

高精度予測情報等を通じた気候変動対策【文部科学省】

施策概要

気候モデル開発等による気候変動メカニズムの解明や気候予測データの創出、DIAS(データ統合・解析システム)によるデータの蓄積・提供等を一体的に推進

効果

高精度な気候予測データの創出・提供により、国土交通省等における気候変動を踏まえた治水計画等の対策が進展



JAMSTEC(DIAS)、東京大学ほか4機関(気候変動予測先端研究プログラム)



気候変動適応戦略イニシアチブ

全国的な対策と効果

気候変動適応戦略イニシアチブ 事業概要

気候変動予測先端研究プログラム

気候モデルの高度化等を通じ、気候変動メカニズムの解明やニーズを踏まえた高精度な気候予測データの創出・提供等の国内外の気候変動対策の基盤を支える世界最高水準の研究開発を推進。



地球環境データ統合・解析プラットフォーム事業

地球環境データ(地球観測データ、気候予測データ等)を蓄積・統合・解析・提供するデータプラットフォーム「データ統合・解析システム(DIAS)」を長期的・安定的に運用。また、プラットフォームを利活用した気候変動・防災等の地球規模課題の解決に貢献する研究開発や地球環境分野のデータ利活用を更に加速。



データ統合・解析システム(DIAS)



東京23区リアルタイム浸水予測システムの開発

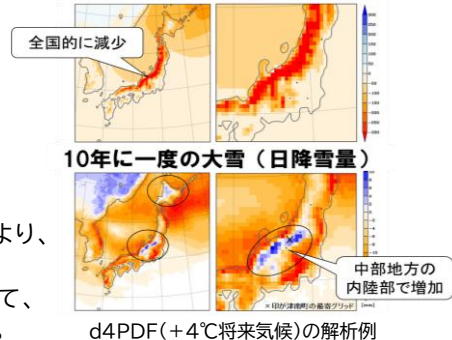
< d4PDFを含む「気候予測データセット2022(DS2022)」を令和4年12月に公表し、DIASにて提供 >

●d4PDF(database for Policy Decision making for Future climate change:地球温暖化対策に資するアンサンブル気候予測データベース)とは？

- 過去の気候、3つの温暖化レベル(+1.5℃、+2℃、+4℃)の将来の気候等について実施した、大規模アンサンブル気候シミュレーション結果をまとめたデータセット
- 未来の気候状態と現在の気候状態との統計的な比較が可能
- 多数の実験例(アンサンブル)を活用することで、台風や集中豪雨などの極端現象の将来変化を、確率的かつ高精度に評価が可能

高精度な気候予測データの創出や地球環境データを利活用した研究開発の推進により、国、地方公共団体、企業等における気候変動対策に関する意思決定に貢献。例えば、国土交通省の「気候変動を踏まえた治水計画のあり方」提言の改訂において、異常気象の将来変化の評価が可能な気候予測データ(d4PDF)が活用されている。

総降雪量(11月～3月)の将来変化



■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
-	-	-
R6	R7	累計
-	-	-

※ 加速化・深化分は措置されていないが、気候変動適応戦略イニシアチブの予算により対策を実施

■ 目標達成の見通し

